



ゆいと 結土ちゃん(平成19年7月23日生)
両親＝木内正勝・真理子さん〔江ヶ崎〕
「踊るのが好き！遊ぶのが好き！」
見て上手に踊れてるでしょ♡♡」



ほのか 帆乃花ちゃん・ももか 百花ちゃん
(平成19年5月4日生・平成18年3月21日生)
両親＝伊藤孝昌・百合子さん〔中谷里〕
「何でもお揃い仲良し姉妹♡」
ミッキーさんち また連れてって～パパ♡」



かずき 和輝ちゃん(平成19年7月10日生)
両親＝太斎義文・裕子さん〔口〕
「野球が大好き!!」
毎日お外で体を鍛えているよ!!」

すこやかちゃんを募集しています

掲載ご希望の方は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、保健センター、海上保健センター、飯岡保健センター、干潟保健センター、秘書広報課にあります。



あさひ浪漫紀行

—文化財を訪ねて—

⑥ 民家と社寺

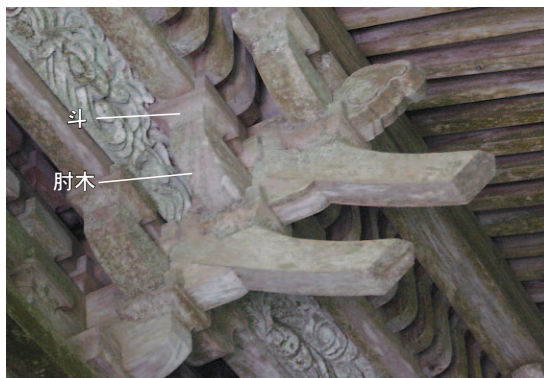
建築は住まいを築くことに始まり、その起源は縄文時代(考

え方により旧石器時代)に求められます。そして現存する、おむね江戸時代以来の伝統的な住まいを「民家」と呼んでいます。一方、六世紀に仏教が伝来して以降、何度か中国から新しい建築技術が伝わりました。その技術は寺院を代表とする建築に生かされ、後に神社建築にも影響しています。

伝わった技術の一つに、肘木と斗という部材で構成された「組物」があります。荷重のかかる屋根の垂木を支え、軒を深くすることができることから、雨を避けるとともに荘厳な屋根をつくることができます。

さて、わが国では例外はあるものの、組物は社寺で見られますが、民家で生かすことはありませんでした。重い屋根を支える構造上の要素といえますが、それだけが理由ではないようです。例えば、威容を誇る近世城郭や屋敷では組物は使われていません。一方、中国では一般の住宅でも組物が使われています。

▲龍福寺本堂組物



組物は、社寺に限定して用いられる意匠として意識されていた点も見逃せません。

社寺は今でも身近な存在ですが、民家を見ることはほとんどなくなりました。大原幽学遺跡(長部)には江戸時代の建築である「旧林家住宅」が保存されています。社寺建築と見比べてはいかがでしょうか。

参考文献『日本建築は特異なのか』

〔生涯学習課文化振興班〕

暮らしのカレンダー

- 5日(土) 中学校体育祭(一中・二中・海上中・飯岡中・干潟中)
- 12日(土) 小学校運動会(中央小・滝郷小・中和小・萬歳小)
- 19日(土) 小学校運動会(琴田小・干潟小・矢指小・共和小・豊畑小・鶴巻小・嚶鳴小・三川小・古城小)
- 20日(日) 飯岡小運動会
- 21日(月) 敬老の日・敬老大会
- 22日(火) 国民の休日
- 23日(水) 秋分の日
- 26日(土) 富浦小運動会
- 27日(日) 秋のゴミゼロ運動、あさひのまつり

古紙配合100%再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

市内局番「60番台→50番台」「50番台→60番台」へかけるときは「0479」が必要です。

編集後記

砂の彫刻美術展の取材をしているときのこと。ステージの裏で、せわしく動き回る人影が目にとまりました。イベントを運営する実行委員会の人たちでした。彼らは、その華やかな舞台に上がることはありません。イベント成功のため、何か月も前から話し合いを重ね、準備をしてきたといえます。この日、大勢の人で埋め尽くされた会場を見て、互いに握手をしながら涙目で喜んでいられる彼らの姿を見たとき、これらのイベントを伝える自分の仕事の重さを、あらためて感じました。

(ま)